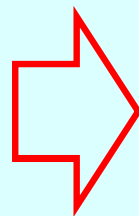


長期未着手の都市計画道路の見直しについて（案）

1. 長期未着手の都市計画道路の見直し方針（案）
2. 長期未着手の都市計画道路の見直し（素案）

都市計画道路とは？

- ・まちの骨格を形成する
- ・人や車の移動を支える
- ・良好な街並みを形成する
- ・非常時に避難空間になる

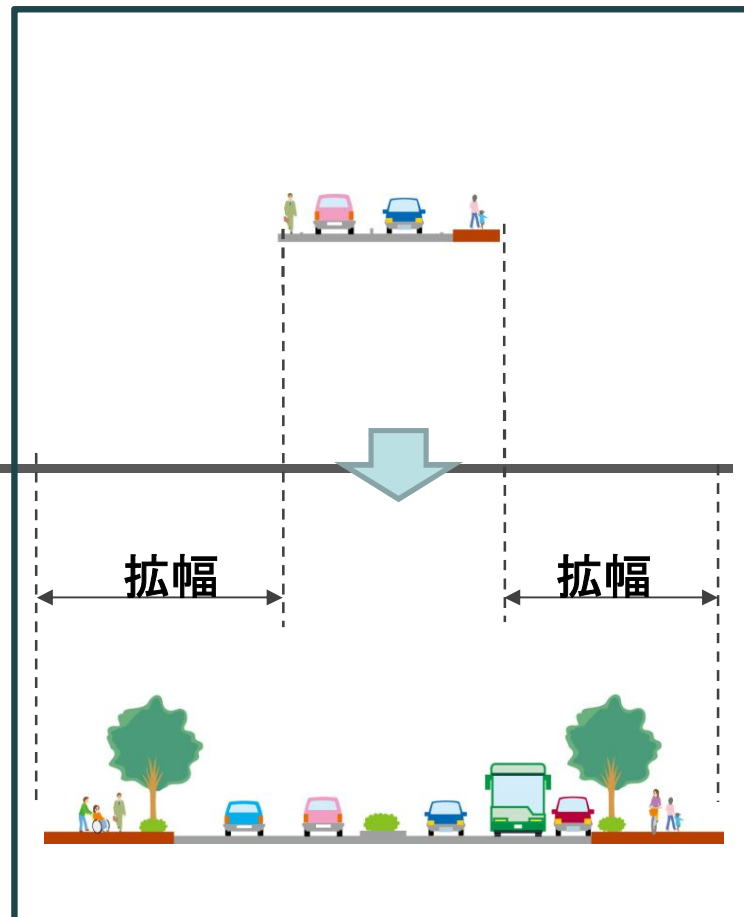


都市活動を支える
基礎的な都市基盤施設

【新設型】

【拡幅型】

整備前



整備後



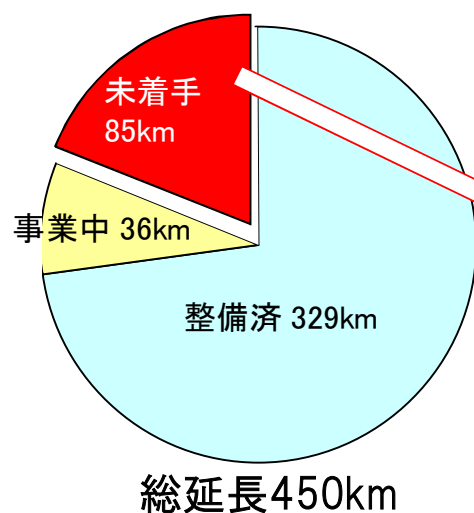
都市計画道路の見直しの背景、必要性

■大阪市の都市計画道路(幹線街路)

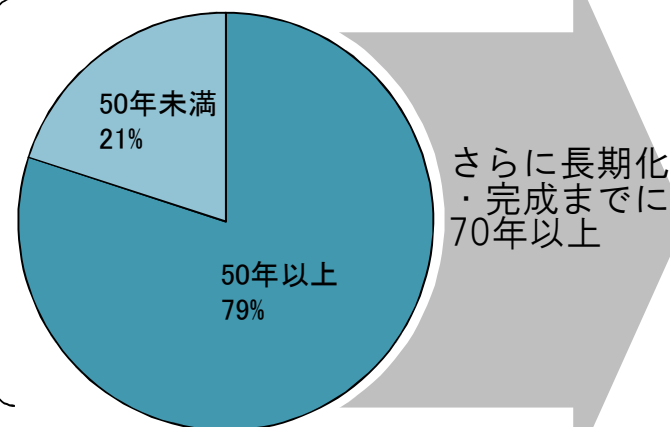
- ・長期的な整備を前提に、総延長約450kmの道路(幹線街路)を都市計画決定
- ・街路事業などにより、既に約329km(約7割)が整備完了、約36km(約1割)が事業中
- ・未着手路線は約85km(約2割)であり、そのうち約8割が都市計画決定後50年以上経過し、これに伴う建築制限が長期化
- ・残事業費が約9,800億円。現在の予算規模では完成までに70年以上を要し、建築制限がさらに長期化

幹線街路	都市計画決定	整備済	事業中	未着手
延長(km)	450	329	36	85

<都市計画道路整備状況>



<都市計画決定後の年数>



都市計画道路の見直しの考え方

- ・人口減少・高齢社会の到来といった、従来の拡大型から安定・成熟型社会への移行が進行。
- ・こうした社会・経済情勢の変化を踏まえ、事業未着手路線の必要性を検証し、存続や廃止などの見直しを実施。
- ・具体的には、以下の4つの視点で必要性を検証。

